

# いけだ「議会だ」より



No. 195

## IKEDA GIKAI DAYORI

12月定例会



質疑あれこれ



一般質問



きらり・編集後記

p2-3

p4

p5-9

p10

# 第4回定例会(2024年12月議会)

12月2日  
▼  
12月13日

## 人事案件

○監査委員 竹田邦雄(青柳)

## 12月議会の内容

規約の変更…………… 1件  
人事案件…………… 1件  
条例関係…………… 3件  
予算関係…………… 5件  
請願…………… 1件  
意見書…………… 1件

## 専決処分事項 令和6年度池田町一般会計予算(第7号)

8,957千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ10,794,211千円とする。(衆議院議員選挙等)

## 条例及び規約の制定・改正等

◎池田町ハラスメントの防止等に関する条例(公布の日から施行する。)

詳細は池田町ホームページを参照

◎池田町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正

布設工事監督者要件・水道技術者の資格要件 技術上の実務経験が両方とも1/2に短縮されました。(令和7年4月1日より施行)

◎証明書の交付等に関する事務の委託の廃止

地方自治法第252条の14に基づき、証明書の交付等事務委託に関する事務の相互の委託を廃止する。委託を廃止する市町(令和7年4月1日から施行)

岐阜市、大垣市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、北方町

◎池田町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正(交付日から施行)

いじめ問題調査委員会委員		
専門知識を有する委員	日額	18,800円
その他の委員	日額	6,000円
教育委員会事務点検評価委員会委員	日額	4,700円
学校あり方検討委員会委員	日額	4,700円

## 令和6年度池田町一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ345,258千円を追加し、歳入歳出をそれぞれ11,139,469千円とする。

**主な歳入** 地方特例交付金31,061千円、地方交付税49,005千円、国庫支出金86,642千円、県支出金56,047千円、寄付金2,503千円、繰入金120,000千円。

### 主な歳出

・土地取得特別会計繰出金 100,754千円  
・社会福祉総務費 119,057千円  
・福祉医療費 37,921千円  
・児童福祉運営費 53,409千円

## 令和6年度池田町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 2,421 千円を追加し、総額を 2,051,592 千円とする。

## 令和6年度池田町温泉施設特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ0円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 255,413 千円とする。  
(池田温泉運営分析提案委託料 550 千円 予備費から△ 550 千円)

## 令和6年度池田町土地取得特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出の総額に、それぞれ 100,754 千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 280,754 千円とする。

### 主な歳出

・設計委託料	1,560 万円
・土地買収費	8,111.3 万円

## 再審法改正を求める意見書を国に提出

- 1 捜査機関が保管する全ての証拠を開示すること。
- 2 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止すること。
- 3 以上のほか、えん罪被害の救済に資するように再審請求手続の審理のあり方に関する規定を整備すること。

## 臨時会報告 第4回臨時会（令和6年10月4日）

### 売買契約の締結の追認2件

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例(昭和40年条例第10号)

第3条の規定に基づき、本来、議会の議決を経て契約すべきところ、議会の議決を経ずに契約していたため、議会追認

1	指導用教科書、指導書の購入	随意契約	16,100,583円	(有)樋口文具店
	納入場所 池田町 各小学校			
	令和2年度小学校教科書指導用教材購入事業			
	指導用教科書	916冊		
	指導書(デジタル教科書含む)	786冊		
2	指導用教科書、指導書の購入	随意契約	17,953,807円	(有)樋口文具店
	納入場所 池田町 各小学校			
	令和6年度小学校教科書指導用教材購入事業			
	指導用教科書	971冊		
	指導書(デジタル教科書含む)	759冊		

# 質疑あれこれ

12月議会に上程された議案の中から主な質疑を要約してお知らせします。

## 総務建設産業委員会

12月12日開催

### ○ハラスメント防止条例

**問** ハラスメントの相談で、同性に話をしたいという場合の対応は。

**答** 相談窓口に弁護士、臨床心理士を想定しており、男性、女性を配置することを考えている。

**問** ハラスメント相談窓口は常時開設するのか。

**答** 常時開設し電話対応できる状態とする。

**問** 指定管理者や委託業務などで本町と契約している側への周知の仕方は。



美濃本郷駅・無料駐車場の現状

### ○補正予算

#### ○一般会計

**問** 交通安全施設設置業務委託料で、カーブミラーを修繕する箇所数は。

**答** 6月から9月の間にカーブミラーの点検をした。結果1,325か所中、24か所が倒壊の恐れがあり修繕対応する。

**問** 美濃本郷駅の無料駐車場が未舗装で穴ぼこだらけ、修繕を。

**答** 個人の所有地の一部を借地しており全面舗装は困難。水たまりがでる部分の修繕をする。

### ○池田温泉施設特別会計

**問** 池田温泉運営分析提案委託料の内容の詳細は。

**答** 市場調査と今の経営状態の把握をしてもらい、今後の池田温泉の方向性の提案をしてもらう。

## 民生文教委員会

12月5日開催

### ○条例改正

**問** 広域の証明書交付廃止20市町すべてが廃止とするのか。

**答** 岐阜地域、大垣地域を結び20市町で住民票等広域相互発行サービスは利用者の減少により令和7年3月31日で終了、廃止する。

### ○非常勤の特別職員の報酬、費用弁償

**問** 過去に池田町いじめ問題調査委員会が設置されたが、それに支払う為に今決めるのか。それともまだ支払っていないのか。

**答** 過去は、大学教授、弁護士、臨床心理士の4名の委員の方々にはいじめ問題調査委員会の設置要綱に基づいて支払

われている。

**問** 教育委員会事務点検評価委員会とは、現実に機能しているのか。

**答** 今まで委員会は開催していない。この委員会は1年間に池田町としての教育活動全体について意見をもらい、次の年度に反映していくよう考えている。

### ○補正予算

#### ○一般会計

**問** インフルエンザの予防接種に対して町は補助金を出しているが、注射によらないワクチン、鼻から噴霧するインフルエンザの予防薬(フルミスト)の助成は行っているのか。

**答** 鼻から1回接種の子供用のワクチン(フルミスト)が承認され、他の注射と同じように一人年度1回2,000円で今年度より助成対象にしている。

**問** 小学校、中学校のPTAの準会員費が区長を通じて集められているが、来年度から廃止にするのか。

**答** 令和7年度から廃止する。

### ○国民健康保険特別会計

**問** 退職者医療制度が廃止になったのはいつからか。

**答** 制度廃止は平成20年4月である。令和6年3月で満了した。

## 議会改革特別委員会

12月9日開催

### ○選挙公報について

他町の選挙公報の条例、選挙に関する期日等の要点、選挙公報の掲載申請期限、選挙公報掲載分記載上の注意についての説明を受けた。

今後の予定は、池田町選挙公報の条例制定を来年度中に制定することとした。

### ○議員の定数・報酬について

池田町議会議員の定数・報酬等の推移、岐阜県内の町村議員や近隣2市町議員の報酬額の比較などの説明を受けた。

今後は、他市町の費用弁償や歳入歳出額も比較対象として審議するための資料を委員会として作成する。本案件を含めて継続審査とした。



八田隆士 議員

## 池田温泉

地域の方々と共に楽しんでいただける観光整備

①経営の黒字化に向けた今後の展望は。

過去7年間の入浴者数の推移を見ると令和2年度に急激な減少が見られる。主な原因は、料金の値上げ、新型コロナウイルス感染症による入浴者の減少、さらに45日間の休館が挙げられる。令和5年5月に感染症は5類に変更されたが、V字回復には至らず、客足の戻りが緩やかである。そこで増客に向けた以下の活用方法を提案したい。

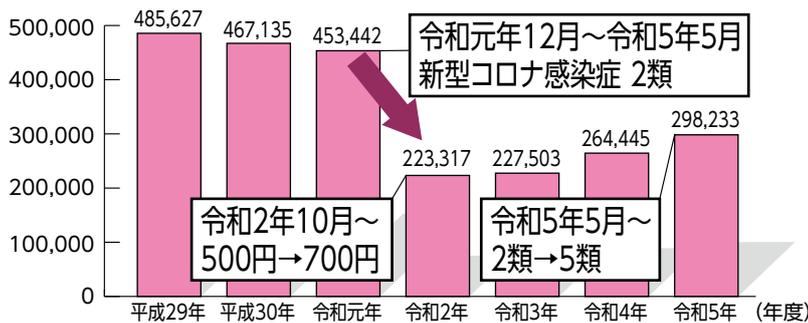
コミュニティバスを活用し、町民や隣接市町のグループを対象に、近くの公民館まで温泉送迎サービス等ツアーの企画。

PRとして温泉スタンドを活用し、平時には福祉施設への湯の運搬サービスを行い、災害時には人道支援として温泉の湯を提供。



池田温泉本館

池田温泉入浴者数



町長

池田温泉は町にとって大切な財産だが、存続の危機に近い状況にあるという事をまずお伝えしたい。平成15年に新館がオープンし、64万人を超える利用者数を記録したが、その後は減少傾向にあり、コロナ禍でさらに減少、令和5年度も30万人にも届いていない。経営面でも平成19年以降は営業利益が赤字となり、構造的な赤字体質が続いている。最終利益については、平成30年から赤字に転落し、現在に至るまで黒字化していない。平成30年はコロナ禍の前であり、池田温泉はコロナ禍前から赤字になっているという状況である。この状況を改善するため、民間の専門家の意見を取り入れ、温泉の分析や市場調査を行い、令和7年3月に再建策の提案を受ける予定である。

町長

現状を把握した上で、この池田温泉を、町の財産として未来永劫存続させる為に、提案いただいた新サービス等も検討・町民や議会の意見を反映し、池田温泉の未来へつなぐ新たな改革に取り組む。皆様のご理解と協力をお願いしつつ、池田温泉と一緒に盛り上げたい。



クアオルトとは



一例として、インクルーシブ遊具や、クアオルト健康ウォーキングなども参考にしています。



林 孝英 議員

# 池田町リサイクルセンターの 利用促進を

資源ごみの引取料の充当  
先は

**環境課長**

資源ごみの引取料はリサイクルセンターの管理事業費に充当されている。

資源ごみについて分析すると、令和5年度は7種類のリサイクル資源から約**898万円の収入**、町民一人あたり約400円の資源をリサイクルに回した計算。(資料8月の広報いけど)

令和5年度歳入歳出決算実績報告書によれば、リサイクルセンターの管理事業費は4,979万円。搬入された粗大ごみ及び不燃ごみ等の処理費用は約2,144万円と算出できる。管理事業費4,979万円から粗大ごみ及び不燃ごみ等の処理経費2,144万円を差し引くとリサイクル事業にかかった事業費は**2,835万円**で

あったことが解る。

他に経費が増えることも有ると思うが、おおよそ資源ごみの持ち込みを今の3・2倍まで増加させることができるならば、リサイクル事業を±0にできると考える。町としてリサイクル事業を±0とまでいかなくても、0に近づける為どのようなお考えをお持ちか。

**環境課長**

町環境課としましては次の4つの施策を行っている。

- ①資源ごみの分別に関する周知方法の充実。  
パンフレット、町ホームページでのごみ出し辞典などの案内及び池田情報アプリのごみカレンダーなどを活用した周知を充実。
- ②環境美化推進員の組織を活用し、普及活動や情報提供を行い、各地区での取り組みを促進させ、説

明会の開催要望に個々に応じる。

- ③製品プラスチックの回収促進。現在回収が頭打ちになっているので重点的に回収促進を図る。
- ④リサイクルセンターの利用促進。

缶類、古紙類はリサイクルセンターでの直接回収率が多い品目ですが、有効資源で有っても捨てればごみになる。資源として回収しリサイクルセンターの利用促進を図る。

**資料**

令和5年度の町への収入となったリサイクル資源

	排出量	引取料
金属類	54.8トン	2,066千円
古紙類	468.8トン	462千円
ガラスびん	114.5トン	15千円
製品プラ	38.4トン	211千円
小型家電	11.1トン	182千円
廃食用油	1,280ℓ	6千円
ペットボトル	96,510kg	6,038千円
合計		8,980千円

TOTAL 8,980千円 ÷ 22,500人 = 400円 **1人あたり年間400円の収入**



河野直人 議員

## 池田山麓の整備と広報

池田山麓一帯における当面の開発整備構想は。

町長

地元の支持を得ないまま遠方から大掛かりな観光客を誘致するといった方向の観光推進は行わない。

さまざまなインフラ整備・施策において、地元の方が直接的に楽しんで頂ける環境作りを行い、その評価・風評が広まる事で近隣市町からも池田町に来て頂ける、そういう観光推進をしていきたい。

池田町の観光、また自然の恵みという観点からも、池田山の整備に力を注ぐ。皆様からご意見を頂きながら、行政として努力していく。

町内山麓の観光マップが充実してきているが、鳥瞰図(ちようかんず)に池田山の尾根・谷筋を書き表し、谷の名称を明記してはどうか?池田山の地形を理解し、谷の名称を知ることで、治山・治水・防災への認識が更に深まる。

また、麓の道路・施設と共に、池田山へのアクセスが分かり易くなる。広報資料に加えてはどうか。

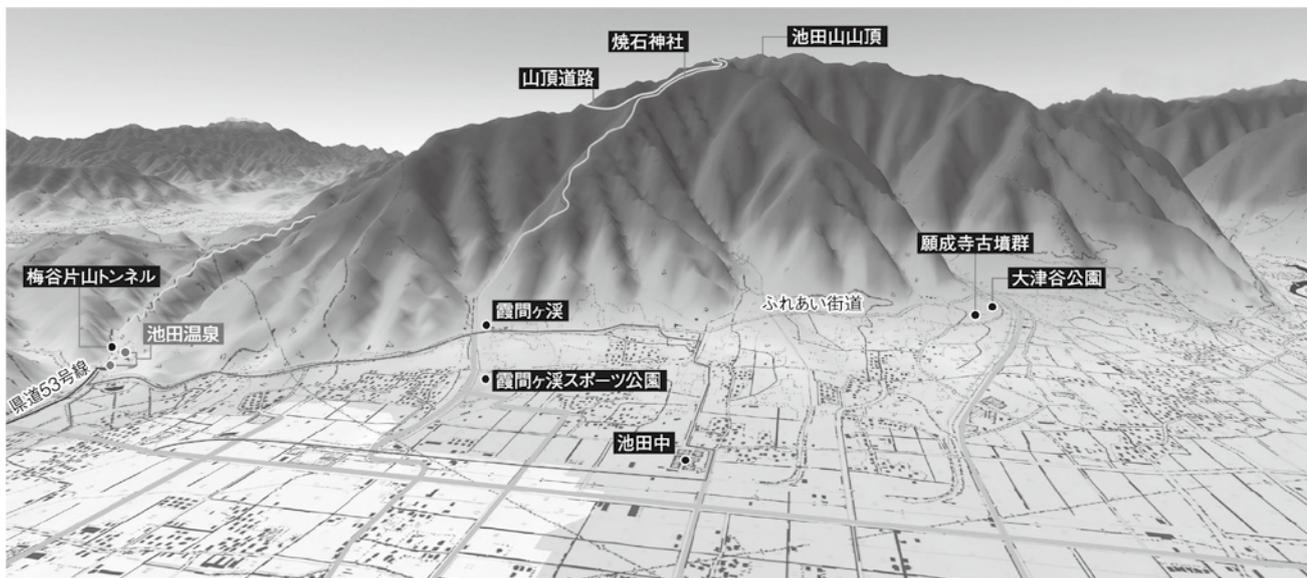
町長

マップは観光誘致の一環として作られているが、今回提案は谷筋の防災意識にも寄与するという、これまでなかった観点だと思う。

霞間ヶ深・大津谷など、桜の名所の谷筋は多く、観光的な側面からも有効と考え、意見を取り入れていきたい。

令和5年度に作成した「池田山登山マップ」の在庫もあり、また、現在整備を進めている山麓遊歩道や今後整備を計画している大津谷登山道の「あずまや」などが完成した後、これらを含め改めて掲載していきたい。谷筋22ヶ所は、見やすい範囲で、出来るだけ網羅していく。

## 池田山立体図 - 鳥瞰図(池田山登山マップより)



※この図はイメージ図で実際の縮尺などは一部変えております。



野網義一 議員

# 交通弱者対策の充実を

## 「いけタク」の改善

- ・対象年齢の引き下げ
- ・対象医療機関等の拡大
- ・利用時間帯の延長

①西濃地域内で一般市民のタクシー利用年齢が一番高い、同年齢の他町はそれに代わるコミバスが利用できる。対象年齢の引き下げを。

②町外の対象医療機関等に大垣市民病院や徳洲会病院を、また、養老鉄道の広神戸駅、北神戸駅を追加されたい。

### 企画課長

利用者にアンケート調査の実施や利用状況を検証・分析し年齢の引き下げや対象医療機関を検討する。

③「いけタク」利用時間帯を午後8時まで延長を。

### 企画課長

タクシーの運転手不足で現状では困難。

## 電動シニアカー等に補助を

①介護保険適用されると1/3割の自己負担でレンタル可能。利用者の現状と制度のPRを。②電動シニアカー購入補助の制度化。③加齢

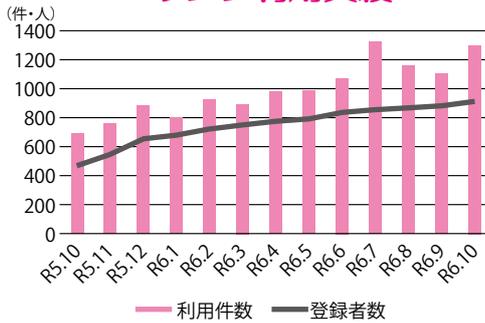
性難聴者の補聴器補助制度の確立を。

### 企画課長

①介護保険適用で利用者は12名。②介護保険外のシニアカー購入補助は交通安全対策と合わせて検討する。③効果的な補助を検討中。

	タクシー助成制度	コミバス
池田町	80歳以上、300円で2,000円まで	×
揖斐川町	デマンドバス300円	○300円
大野町	年齢制限なし、300円	×
神戸町	70歳以上、一人200円	×
安八町	80歳以上、500円で3,000円まで年24枚	○100円
輪之内町	75歳以上、300円で3,000円まで指定病院	○100円
大垣市	×	○100円
垂井町	80歳以上、500円助成	○100円
関ヶ原町	75歳以上	○100円
養老町	65歳以上、第2第4土曜500円で3,000円	○200円
海津市	×	○200円

## いけタク利用実績



## 防災備蓄としてトイレカー導入を

国は避難所の環境改善に向け、水洗式のトイレを備えた移動式トイレカー等の購入に補助する方針だ。トイレカーは平時時には各種イベントで多くの人が集まる場合にも活用でき、PRする場にもなる。

### 総務課長

トイレカーは高価で補助金を受けたとしても負担が大きい。平時時の活用についても維持管理に課題がある。広域の自治体間で相互派遣のような体制が必要。今後検討する。

## 上下水道の耐震化の現状と耐震化計画について

国土交通省は上下水道の緊急点検結果を公表した。池田町の点検結果は。

また、25年1月末までに耐震化計画策定を求めている。液状化によるマンホールの浮き上がり対策はしているのか。

### 水道部長

水道施設では建築物本体が一部耐震。導水管、送水管は耐震適合管ではない。15の重要施設の接続管路も耐震適合管ではない。下水道では公共

下水道の管理棟などは耐震性能があるが、農集はない。液状化によるマンホールの浮き上がり対策は未実施。マンホールポンプ農集7基、公共19基や重要施設に接続するマンホールは対策する必要がある。

水道の配水管・給水管ともに年々漏水箇所が増え修繕している。今後、管路の耐震化や更新計画を策定し、計画的に工事を進める。



森 政郎 議員

## 前町長の有罪判決を受けて

岐阜地裁から岡崎前町長に、懲役2年6か月、執行猶予4年、追徴金100万円の判決が出された。「①裁判結果の感想 ②退職金・収賄金の返還請求、前副町長への対応 ③事実が判明次第町民に報告との町長声明は ④談合報道と入札手続への認識」を質問。

### 町長

①法に反した者に相応の罰、ルールに基づいたことが実現された。  
 ②退職手当審査会（弁護士1人、教授2人）を開催（1月下旬）し、結果を退職手当組合に通知する。前副町長は不起訴、禁固刑以上でないとの審査会の理由がない。  
 収賄金は池田町に納入されるべき根拠がなく、返還請求しない。  
 ③当局の発表を事実だと認定、それ以外の報道等は行政として事実認定できない。ホームページでは事実公表

が不足のため、文面等を考慮し公表したい。  
 ④業者が示し合わせという意味なら、談合の事実を確認できない。  
 入札手続に不手際はなかった。

## 町民の命を守る 点検活動を

町民の命を守ることは最優先課題、不断の点検を要望し「①災害対策（含宗教施設への流入土砂処分）②獣害対策（含伊吹山鹿食害）③交通安全対策」を質問。

### ①建設課長

台風10号では、床下浸水や道路・農地冠水、土砂流出・堆積被害などが発生。1級河川は月1回。砂防施設も年に1回の定期監視。出水期前や大雨後などには巡視。  
 共同墓地等の宗教施設への災害土砂は、土砂堆積施設に搬入可能規模なら受入れ。

### ②産業課長



県道に流出した土砂（藤代）

10月に10件の熊目撃情報。防災無線等で注意喚起。箱わなを5基設置。有害鳥獣捕獲事業を継続。

伊吹山には1kmあたり30〜61頭の鹿が生息、植物を食べ尽くし裸地化が進行、保水力がなくなり土砂災害となった。池田山では1kmあたり5頭で裸地化は見られない。猟友会の協力で適正化を図る。

### ③企画課長

交通安全協議会等と交通事故死亡現場を点検。国道横断歩道は、視認性を高めるよう損壊土木事務所が対策。町内の全横断歩道を点検。  
 町道の中央線や区画線などは順次引き直し。自転車用ヘルメット着用や横断歩道での歩行者優先の徹底、視認性が悪い横断歩道は撤去も含め対策。

## 大型獣の捕獲実績 (12月1日時点)

ツキノワグマ	1頭
イノシシ	41頭
ニホンジカ	101頭

## 最近の町内交通事故

10月25日 午後5時半頃	本郷地内 町道	79歳女性が自転車走行中に転倒、用水路に転落・死亡
11月16日 午後5時頃	池野地内 国道	横断歩道を渡っていた62歳男性が軽乗用車にはねられ死亡



日本原水爆被害者団体協議会(被団協)は1956年結成以来「再び被爆者をつくるな」「核兵器も戦争もない世界」を合言葉に活動し続けてノーベル平和賞を受賞しました。今回紹介するのは、満州で終戦を迎え、命からがら帰国した草深い北村栄美さんです。その貴重な体験を「語り部」として、各地で講演して「平和の大切さ」を訴え続けられています。



「語り部定期講演」にて

### ★ どうして満州へ行かれたのですか

満州事変(1932年)後に傀儡国家として設立した満州国へ移民を送出することは国の政策として強引に行われていました。ちょうどそのころ家の裏山が崩れて田んぼができなくなってしまったこともあり、1941年6月、家族6人で満州に渡りました。

### ★ 戦後、満州はどのような状態でしたか?

侵攻してきたソ連軍や積年の恨みをはらそうとした現地民が、開拓団を襲うようになり、全滅した開拓団や集団自決した開拓団もありました。私のいた大古洞開拓団(たいごどうかいたくだん)は、どうにかその土地で年を越し、1946年春になって日本に帰国することになりました。しかし、その年に帰国したのは私と兄の2人だけでした。父はシベリア出兵に取られていました。母たちが帰国したのは1953年でした。私の家族はバラバラになってしまったのです。



1941年5月渡満直前の兄妹写真

### ★ 何がきっかけで体験談を話されるようになったのですか?

はじめは私の子どもたちに、家族のことを話しました。その後、岐阜県母親大会の分科会で発言する機会をいただきました。多くの母親たちに私の満州体験を通して戦争や平和について考えていただきたいと思いました。



当時のアジアの様子

### ★ 今後の抱負

現在は、長野県阿智村の満蒙開拓平和記念館で語り部をしています。聞いてくださる方がおられましたら、どこでもお話をさせていただきたいと思っています。高齢になりましたので、いつまで続けられるかわかりませんが、命ある限り語り継いでいきたいと思っています。

## 表紙デザインについて

明けましておめでとうございます!  
 祝いの花を書き初めのように描きました。

デザイン: 柳瀬、吉野 (melme,inc)  
 @melted\_meadow

電子書籍でも▶いけだ議会だより



Gifu ebooks



議会広報編集委員 河野直人

謹んで新春をお祝い申し上げます。  
 改めて令和6年を振り返ってみると、災害は能登半島地震から我が池田町の台風、経済は円安・農水産物不作・人手不足などから物価高が浸透、そして各種ハラスメントなど社会問題が浮き彫り、と困難苦難が波打っております。  
 その中で、円安を主な理由に観光インバウンドが全国に広がり、池田町もコロナ禍沈静で色々な行事が復活するなど活気が戻りつつあるのは、明るい材料です。  
 議会は、令和7年も引き続き様々な課題に取り組んでいかねばなりません。新年で心新たに、「明日がある」の心意気で頑張ってください。  
 本年も議会へのご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

編集後記